

平成 26 年 11 月 21 日

報道機関 各位

血小板由来増殖因子の作用機序と生体での役割についての研究

このたび、富山大学大学院医学薬学研究部（医学）病態病理学講座 笹原正清（ささはら まさきよ）教授が、「血小板由来増殖因子の作用機序と生体での役割」の研究業績が評価され、平成 28 年度日本病理学賞（＝日本病理学会宿題報告）を受賞することとなりました。

日本病理学賞は、日本病理学会が設けるもので、病理学領域における特定の課題について卓越した業績を挙げていると判断された会員が、その課題の業績を日本病理学会総会において報告し、もって会員の病理に関する学術、医療の振興とその普及に資することを企図するものです。明治 44 年（1911 年）の藤浪 鑑先生による「日本住血吸虫-病理解剖的方面」に始まり、100 余年の歴史の中で、古くは長与又郎先生、山極勝三郎先生、吉田富三先生など偉大な病理学の先達によって行なわれています。

笹原教授は「血小板由来増殖因子の作用機序と生体での役割」に関する研究において、開発した動物実験モデルを用いて、神経組織、血管および腎臓等の器官あるいはこれらに由来する培養細胞に於いて、血小板由来増殖因子が多彩な作用を有する強力な機能分子として作用すること、特に、再生医療の重要な標的としても期待されることを明らかにしました。なお、本学からの受賞は初めてです。

授与式・受賞記念講演は下記の日程で行われます。については取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

授与式並びに祈念講演  
第105回日本病理学会総会  
2016年5月12-14日  
仙台国際センター  
にて行われます。

【参考ウェブサイト】<http://pathology.or.jp/ippan/info-trans.html>

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 大学院 医学薬学研究部 病態病理学講座  
教授  
笹原正清  
TEL.076-434-7238